

# 湯田ダムだより

平成25年7月

北上川ダム統合管理事務所  
湯田ダム管理支所

出水期（7／1～9／30）に入り、  
貯水位を下げ「治水容量※」を確保しています。

※上流から流れてくる洪水の一部を貯める為の容量をいいます。

湯田ダムでは、台風や梅雨前線等により大雨となりやすい7月1日から9月30日までを出水期と定め、ダムの貯水位を低く保ち治水容量を確保しています。

この治水容量は概ね東京ドーム約63個分（7千8百万立法メートル）で、ダム上流が大雨となり流入量が多い場合には、この治水容量に洪水の一部を貯め込み、下流へに流しても安全な分だけ、ダムから水を流します。

平成23年6月24日には、最大で1秒間に概ね25mプールで3杯分（1,975立法メートル）のダム流入量がありましたが、その内の約5分の1の放流（400立法メートル）し、ダム貯水位は約8.6メートル上昇しましたが、ダム下流部を洪水から守ることが出来ました。



5月9日撮影



6月25日撮影

## ダム湖に「熊」！！

6月4日昼時間、暑さのためか、それとも、その日に行われた「湯田ダムゲート操作訓練」見学のためか、大きさ1m程度の熊がダムに出没しました。

網場※の上を器用に渡ってましたが、途中ダム湖へ落水し、仕方なく泳ぎ、対岸の山の中に消えて行きました。（SASUKE的なものでしょうか？）

当ダム管理支所では、ただちに西和賀町や発電所等の関係機関に「ダム湖を熊が泳いでいる」との情報を発信し、熊に襲われないよう注意喚起しました。



※網場：ダムゲートに流木等が流れ込まないように設置した網

## 出水期※を控え、ダムゲート操作訓練を行いました。

※湯田ダムでは7/1～9/30まで出水期(台風や梅雨前線等により大雨となりやすい時期)としています。

出水期を控え、湯田ダムでダムゲートの操作訓練が行われました。

この訓練は、職員が確実に操作することが出来る体制をつくるために行っているもので、訓練には13名が参加し、ゲートの構造や特徴、ゲート操作方法について確認しました。

北上川ダム統合管理事務所では北上川の5ダムを管理しており、確実なダム管理体制の確保を目的に、出水期前のダムゲート操作訓練を行っています。その第1回目として湯田ダムで実施されました。



ゲート構造確認状況



遠隔操作状況



機側操作状況



ゲート開閉確認状況

### 編集後記

6月は天候も穏やかで雨も少なく過ごしやすい日が続きました。

7月中旬には全国的にも珍しい「水のカーテン貯砂ダム回廊」を一般開放します。真夏の暑さをしのぐには、貯砂ダム回廊を散策するか、ダムで涼しい風に吹かれるのが一番です！。(細)